

第10号 米代川水系流域治水ニュース

発行者：国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所
〒016-0121 能代市鍼淵字一本柳97-1 TEL 0185-70-1001 (代)
<http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/> E-mail thr-noshiro01@mlit.go.jp

秋田県内を襲った豪雨災害 ～令和5年7月15日からの梅雨前線による大雨～



能代市悪土川の内水氾濫



国道7号の路肩崩落



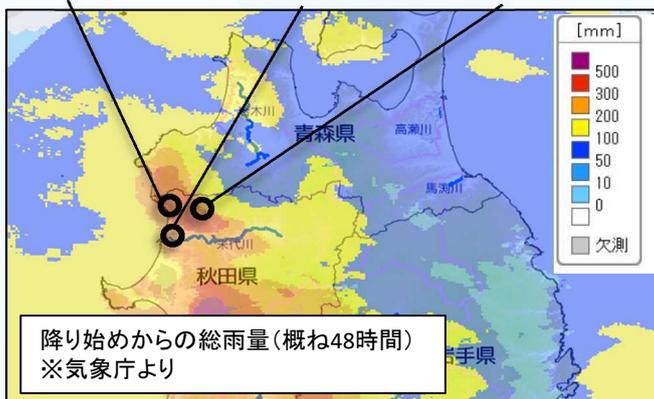
国道7号の冠水

7月15日からの梅雨前線の影響により、秋田県内各地は記録的大雨となりました。米代川圏域においても多くの地点で観測史上1位の雨量を観測し、例年の7月1か月分を超える雨量を記録しました。

この大雨の影響により、高速道路をはじめ多くの道路が通行止めとなったほか、能代市では床上、床下合わせて310棟の住宅浸水被害が発生。八峰町では土砂崩れの影響により約1,300世帯が断水するなど、住民生活に大きな影響を与えました。

八森 249mm (観測史上1位) ※7月の平均値 172.2mm	能代 196mm (観測史上1位) ※7月の平均値 162.5mm	藤里 333mm (観測史上1位) ※7月の平均値 275.6mm
--	--	--

近年、気候変動の影響により全国的に雨量が増加傾向にあります。米代川流域においてもニツ井雨量観測所において、「年間総雨量」が増加傾向にあり、平成20年を境に平均年間総雨量が約1.2倍に増加しています。

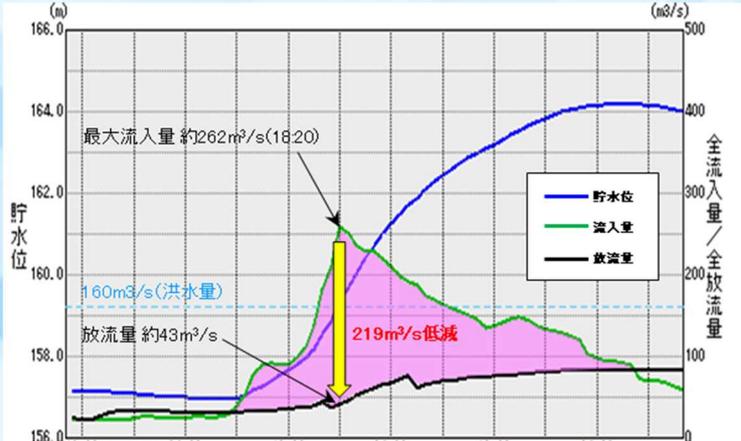


流域治水対策による被害軽減効果

北秋田市の森吉山ダム(H24供用開始)では、今回の大雨で1400万 m^3 (東京ドーム約12杯分)の水を溜めこみ、米代川の河道掘削や樹木伐採の効果と合わせ、ニツ井観測所の水位を約47cm低減させる効果があったと推察されます。これにより避難判断水位の超過を回避しました。

森吉山ダムの洪水調節

累加雨量154.2mm(7/14 16:00~7/16 8:00)



河道掘削の事例



平成19年6月撮影

河道に堆積した土砂を撤去することで河道を広げ流れやすくします。

住民参加型「ダム警報訓練」を実施

令和5年7月12日(水)森吉山ダムにおいて、「緊急放流」時の迅速な避難行動に繋げることを目的とした、地域住民参加型の「ダム警報訓練」を実施しました。

訓練では、「緊急放流」や「洪水調節」について、模型やVRを使って説明したあと、緊急放流が想定される場合に各警報設備から流される音声放送やサイレンを実際に聞いていただき、音の聞こえ方や内容について意見交換を行いました。



洪水調節 と 緊急放流



洪水調節とはダムに雨水を溜めこみ、下流の河川に流れ込む水量を調整することで、洪水を防ぐ働きのことです。
緊急放流とは大雨によりダムの貯留量が限界に達した場合、**洪水調節**を行わず、降った雨をそのまま下流に流すことです。



緊急放流時の音声放送やサイレンの聞こえ方を住民の方々と一緒に確認。参加者からは、サイレンを先にした方がよい。通常放送とサイレン音を変えた方がよいという意見をいただきました。



全国流域治水MAP

自分たちのアクションを登録して共有しよう

みんなで流域治水の取組を共有するプラットフォームです。行政、民間企業、流域団体、住民個人等、取組を行う方であればあなたでも投稿いただけます。

◀ 全国各地の流域治水に関する取組をまとめたプラットフォームが開設されました。投稿は行政、企業のほか、個人でも投稿することができます。

米代川圏域においても「VR機器を用いた防災啓発」や「自然災害伝承碑の周知」等が掲載されています。



※あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」の取り組みが広がっています。詳しくは、右記のURL(QRコード)より確認できます。

<http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/kasen/ryuukichisui/ryuukichisui.htm>

